

# 都市再生整備計画

みかわあんじょう きょうそうちく  
三河安城マチナカ協創地区

(第1回変更)

あいち あんじょう  
愛知県 安城市

令和5年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	安城市	地区名	三河安城マチナカ協創地区	面積	57.3 ha
-------	-----	------	-----	-----	--------------	----	---------

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度
------	-------------------	------	-------------------

**目標**  
**(つかう)**パブリックスペースの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動との連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」しくみの形成。  
**(つくる)**公共空間と隣接する民間セットバック用地の活用をきっかけとした、ステークホルダーとの連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」空間の形成。  
**(集まる)**マチナカプレイスメイキングの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動とステークホルダーとの連携による「居心地よく滞在できる」マチナカの形成。

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
**【まちの成り立ち】**本市の三河安城駅周辺は、昭和63年の新幹線駅三河安城駅の開業を契機に、土地区画整理事業により誕生/成長した新しいまちである。  
**【まちの当初設定ビジョン】**安城市の副都心として、そして西三河の玄関口“新三河文化の創造”拠点として、「まち」と「ひと」はともに育ってきた。  
**【まちの成長】**新幹線駅の開業や土地区画整理事業の施行に加え、三河安城駅周辺まちづくり指導要綱や地区計画の併用によるまちづくりにより、街区の約88%の敷地に建物が立地し、計画的かつ段階的な居住・都市機能が誘導されている。  
**【まち・ひとの成長】**居住・都市機能の段階的な立地により、居住者は安定的に増加(開業前の約4倍、計画人口の約1.3倍(8,060人/2015年国調、当初1,928人、計画6,251人))している。また、近年では次世代自動車の研究開発企業が現在進行形で集積しつつあるなど、昼夜を問わず多くの居住者・就労者が滞在するまちとなっている。  
**【ひと(活動)の成長】**これまでのマチナカでの人流は、居住/就労空間への往来が主であったが、令和2年創設の公共空間を活用した社会実験制度(マチナカプレイスメイキング)を契機に、まちをつかう民間活動も行われるようになるなど、少しずつであるがまちをつかう取組が始まっている。そして、マチナカプレイスメイキングと並行して進む活動者がつながるプラットフォーム(つかう.meet)における対話、共同活動がきっかけとなり、まちをつかう民間活動が大幅に増加している。

**課題**  
**【都市施設の陳腐化】**まちびらきから30年以上経過し、鉄道駅連絡通路の雨漏りや歩道のインターロッキングブロック、公園内公共空間の劣化だけでなく、昨今の民間活動に見合った機能(電源、給排水等)がマチナカに不足するなど、都市施設の陳腐化が始まっている。  
**【活動するしくみ】**公共空間が区域の約46%を占めるにも関わらず、公共空間を使ったイベントなどで定期的に活用するしくみがないため、区域内の活動者が滞在できる公共空間となっていない。  
**【滞在ニーズと都市機能のギャップ】**人が集まって居心地よく滞在できる都市機能(カフェ・店舗など)が少なく、本地域で滞在する人々がいない。そのため、社会実験を通じ、滞在者のニーズに合うであろう機能を試し、誘導を進めている。  
**【活動ニーズと都市機能のギャップ】**公共空間/民間空間をつかった「まちをつかう」社会実験が継続的に行われているものの、活動者のニーズに応えられる都市機能となっておらず、活動内容に限界が生じている。そのため、社会実験の結果に応じて必要な機能を試みに設置し、活動者のニーズに合うであろう空間づくりを進めている。  
**【活動の認知】**滞在者のニーズを捉えるべく「まちをつかう」活動が行われているが、社会実験として始まったばかりのため、認知が進んでいない。そのため、公民連携でメディア戦略を組みながら、活動とまちのPRを進めている。

将来ビジョン(中長期)  
**★三河安城駅周辺における将来ビジョン**  
**【総合計画】**  
 ・本区域を中心とする地域は、交通の要衝として、高品位なまちづくりにより都市機能の再編を図り、本市の商業・業務の中心にふさわしい魅力と活力にあふれた拠点形成を図るべき区域としている。  
**【第三次安城市都市計画マスタープラン(都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を内包するもの)】**  
 ・本区域は、マチナカ拠点区域(都市機能誘導区域)に位置付けられ、西三河を支える地域拠点(広域的な拠点)として、新幹線三河安城駅周辺を中心に居住・都市機能を高度に集積させていくべき地域としている。  
**【2022SDGs未来都市】**  
 ・公民連携の仕組みを活用しながら、最新技術の活用も視野に入れた地域社会のDXを推進し「おかねが地域で生まれ、まわるまち」「人が参加し、支え合うまち」「資源・エネルギーが循環するまち」を実現し、「安城ならではの公民連携によるウェルビーイングな脱炭素社会」の実現を目指している。  
**★まちづくりにおける将来ビジョン**  
**【総合計画】**  
 ・健幸都市推進プロジェクト(前期計画)で、まちづくりを進める上で、活動の主役となるヒトを育てるため、「きっかけづくり」、「しくみづくり」を掲げている。  
**【第三次安城市都市計画マスタープラン(都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を内包するもの)】**  
 ・「市民とともにづくり・つかう協創のまちづくり」を掲げ、みんなで力を合わせ、まちやまちのつかい方を創っていく「まちをつかい続けられる都市運営」を目指すこととしている。  
**【2022SDGs未来都市】**  
 ・三河安城駅周辺において、人がまちと対話しながら必要な機能を実装し、まちに関わるあらゆる人にとって、居心地よく歩くことができ、さらに滞在できる空間づくりを進めている。

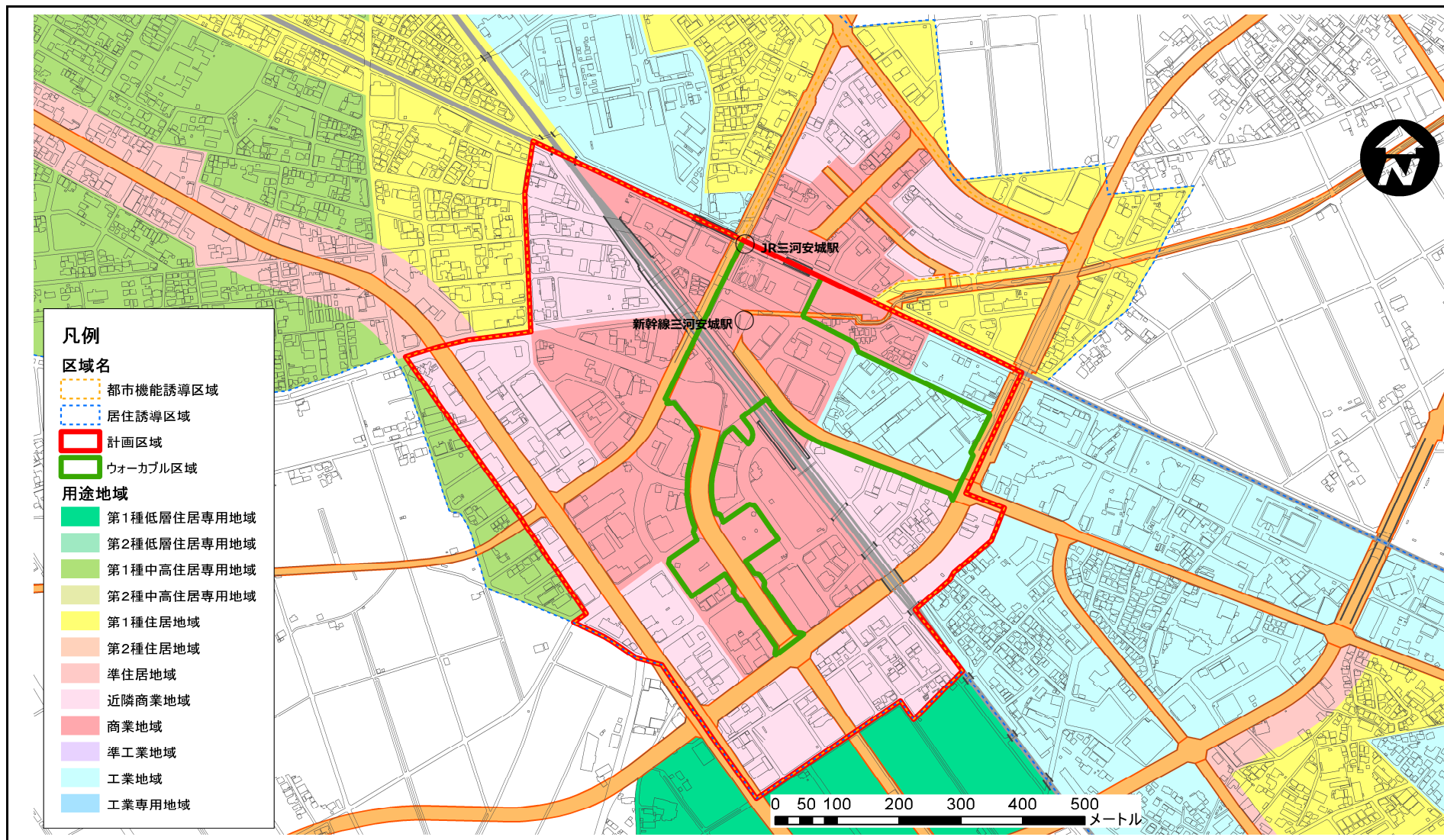
**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
(つかう)公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数	回/年	区域内の公共空間等での、まちをつかう民間活動(社会実験含む。以下同様)の実施回数	まちづくりにつながるまちをつかう民間活動と連携した、心地よくまちをつかい続けられるしくみの浸透	5	R2	48	R7
(つくる)つかってつくる！リノベーションエリア	%	区域内の公共空間等の内、まちをつかう民間活動によってリノベーションした公共空間の割合	プレイヤーとステークホルダーが連携した、つかってつくる心地よくまちをつかい続けられる空間の創出	0	R2	17	R7
(集まる)まちをつかう！オーディエンス獲得数	人/年	区域内のまちをつかう民間活動時に収集する、活動で提供したサービスを受けた人数(イベントの参加者も含む)。	まちづくりにつながるまちをつかう民間活動やステークホルダーと連携した、区域内で居心地よく滞在するオーディエンスの獲得	290	R2	4,800	R7
(つかうの波及)まちをつかう！プレイヤー数	団体	マチナカプレイスメイキング制度等を活用して、まちをつかう民間活動を行う民間団体数。	まちづくりにつながるまちをつかう民間活動と連携した、心地よくまちをつかい続けられるしくみの浸透	4	R2	10	R7

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>【パブリックスペースの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動との連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」しくみの形成</b></p> <p>・本地域で広く提供するパブリックスペース(公共空間)での活動を最大化すべく、社会実験の後方支援(目的の明確化、活動データ取得等のコーディネート)として滞在環境整備事業(調査)を実施する。また、社会実験によって必要性が明らかとなりうる「まちをつかう」上で必要な機能をパブリックスペースに実装するため、滞在環境整備事業(社会実験)、高質空間形成施設(緑化施設等)、高質空間形成施設(歩行支援施設)、地域生活基盤施設(緑地・広場)、公園事業(三河安城ツインパーク)を実施する。これらの取組により、民間まちづくり活動との連携(協創)が促進され、「心地よくまちをつかい続けられる」しくみが形成できるものと期待する。</p>	<p>【基幹事業】 滞在環境整備事業(社会実験)、滞在環境整備事業(調査)、高質空間形成施設(緑化施設等)、高質空間形成施設(歩行支援施設)、地域生活基盤施設(緑地・広場)、地域生活基盤施設(情報版)、公園事業</p> <p>【関連事業】 三河安城駅周辺地区計画、三河安城駅周辺まちづくり指導要綱、安城市駐車場附置義務条例 三河安城パワーアップ再生プロジェクト、マチナカプレイスメイキング、まちを知るきっかけづくり事業、オープンデータ活用事業、3D都市モデル運用事業、つかう.meet運営、まちづくりにおける連携協力に関する協定制 度、まちマスサポート事業、多目的交流拠点(アリーナ)整備事業</p>
<p><b>【民間セットバック用地の活用をきっかけとした、ステークホルダーとの連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」空間の形成</b></p> <p>・三河安城駅周辺まちづくり指導要綱で歩道と定めるミクストスペース(壁面後退用地)のあり方を検討すべく、社会実験の後方支援(活用の多様化等のコーディネート)として滞在環境整備事業(調査)を実施する。また、社会実験によって必要性が明らかとなりうる「まちをつかう」上で必要な機能を民間セットバック用地に実装するため、滞在環境整備事業(社会実験)、地域生活基盤施設(公開空地)、公園事業(三河安城ツインパーク)を実施する。これらの取組により、ステークホルダーとの連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」空間が形成できるものと期待する。</p>	<p>【基幹事業】 滞在環境整備事業(社会実験)、滞在環境整備事業(調査)、地域生活基盤施設(公開空地)、公園事業</p> <p>【関連事業】 三河安城駅周辺地区計画、三河安城駅周辺まちづくり指導要綱、安城市駐車場附置義務条例 三河安城パワーアップ再生プロジェクト、マチナカプレイスメイキング、まちを知るきっかけづくり事業、オープンデータ活用事業、3D都市モデル運用事業、つかう.meet運営、まちづくりにおける連携協力に関する協定制 度、まちマスサポート事業、多目的交流拠点(アリーナ)整備事業</p>
<p><b>【マチナカプレイスメイキングの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動とステークホルダーとの連携による「居心地よく滞在できる」マチナカの形成</b></p> <p>・まちに滞在する人々が必要とするニーズ(社会課題)を発掘すべく、ターゲット活動(社会実験)の後方支援として滞在環境整備事業(調査)を実施する。また、社会実験によって必要性が明らかとなりうる「まちをつかう」上で必要な機能をマチナカに実装するため、滞在環境整備事業(調査)、滞在環境整備事業(社会実験)、高質空間形成施設(緑化施設等)、高質空間形成施設(歩行支援施設)、地域生活基盤施設(情報版)、地域生活基盤施設(公開空地)、公園事業を実施する。これらの取組により、民間まちづくり活動とステークホルダーとの連携による「居心地よく滞在できる」マチナカが形成できるものと期待する。</p>	<p>【基幹事業】 滞在環境整備事業(社会実験)、滞在環境整備事業(調査)、高質空間形成施設(緑化施設等)、高質空間形成施設(歩行支援施設)、地域生活基盤施設(情報版)、地域生活基盤施設(公開空地)、公園事業</p> <p>【関連事業】 三河安城駅周辺地区計画、三河安城駅周辺まちづくり指導要綱、安城市駐車場附置義務条例 三河安城パワーアップ再生プロジェクト、マチナカプレイスメイキング、まちを知るきっかけづくり事業、オープンデータ活用事業、3D都市モデル運用事業、つかう.meet運営、まちづくりにおける連携協力に関する協定制 度、まちマスサポート事業、多目的交流拠点(アリーナ)整備事業</p>
<p><b>その他</b></p>	
<p><b>【まちづくりの住民参加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年6月、「マチナカプレイスメイキング事業」を創設し、仮説ある活動に対し、当区域内の公共空間を無償貸出するしくみ(1ストップ申請かつデータ支払)をつくり、まちをつかう取組の普及、民間まちづくり活動の発掘を行っている。</li> <li>「三河安城商店街振興組合」、「株式会社カンドタカメ」、「NPOMieru-Da Project」、「三河安城まちかどネットワークlink」から公共空間を活用した社会課題解決の企画提案書を受け、4団体が社会実験を行っている。</li> <li>「三河安城商店街振興組合」、「株式会社カンドタカメ」が発起人となり上記4団体及び安城市有志で集まった「まちをつかう」知恵を出し合うプラットフォームとして、「つかう.meet」が結成されている。</li> <li>「つかう.meet」の定期開催以降、団体間のコラボレーション活動が企画され、本地域の公共空間において、公民及び民民連携が始まりつつある。</li> <li>ホテルグランドティアラ名古屋(株式会社レクスト)及び株式会社ビレッジ開発と「まちづくりにおける連携協力に関する協定書」を締結し、(都)駅前中央通り線の歩道隣接空間(奥行2m分)を社会実験用地として提供されている。</li> <li>シーホース三河株式会社、ココ・コーラボトラーズジャパン株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社と「新しいまちづくりの構築に向けた連携協力に関する協定書」を締結し、民間が持つセンサー技術、通信機能等を社会実験で活用し、より豊かな活動や効率的なデータ収集が可能となるよう連携が始まっている。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府の「i-都市再生モデル調査」で選定され、まちの課題(データ)をGoogle Earthで見える化するしくみを構築(コンバーターアプリの開発)し、つかう.meetや区域内イベントでの活用など、まちづくりにおけるDX活用が始まっている。</li> <li>国土交通省の3D都市モデルに選定され、LOD2相当の3D都市モデルを作成し、まちづくりにおけるDX活用が始まっている。</li> <li>内閣府と国土交通省から、データを活用したエリア価値の向上に向けた取組について「新しいまちづくりのモデル都市」に選定されている。</li> <li>国土交通省から、データを活用したエリア価値の向上に向けた取組について、つかう.meetが「第1回まちづくりアワード特別賞」を受賞した。</li> </ul>	



三河安城マチナカ協創地区	面積 57.3 ha	区域 三河安城町の一部、三河安城本町の一部、三河安城南町の一部
--------------	------------	---------------------------------





三河安城マチナカ協創地区(愛知県安城市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーブル推進事業)

目標	・パブリックスペースの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動との連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」しくみの形成。 ・民間セットバック用地の活用をきっかけとした、ステークホルダーとの連携(協創)による「心地よくまちをつかい続けられる」空間の形成。 ・マチナカプレイスメイキングの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動とステークホルダーとの連携による「居心地よく滞在できる」マチナカの形成。	代表的な指標	公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数	(回/年)	5 (R2年度) → 48 (R7年度)
			つかってつくる！リノベーションエリア	(%)	0 (R2年度) → 17 (R7年度)
			まちをつかう！オーディエンス獲得数	(人/年)	290 (R2年度) → 4800 (R7年度)
			まちをつかう！プレイヤー数	(団体)	4 (R2年度) → 10 (R7年度)



**つくるへつながる、まちをつかう取組。**

ミクストスペース活用例  
株式会社カンダタカ  
株式会社レクレスト

パブリックスペース活用例  
ブランディング実験  
NPO Mieru-Da Project

パブリックスペース活用例  
子ども居場所づくり  
三河安城まちかどネットワークlink

パブリックスペース活用例  
ワークショップ  
三河安城商店街振興組合  
NPO Mieru-Da Project

パブリックスペース活用例  
ワークショップ  
三河安城まちかどネットワークlink

**周辺図**

当該地区

18.9万人  
(R4.3時点)

- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (中央駅前広場ほか)  
中央駅前広場等のレイアウト変更検討・暫定実施
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (中央駅前広場)  
屋根・ベンチ等設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (南駅前広場)  
屋根・ベンチ等設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区  
(都) 駅前中央通り線沿線壁面後退用地) ベンチ設置
- 地域生活基盤施設 (公開空地)  
(都) 駅前中央通り線沿線壁面後退用地  
民間セットバック用地修景整備
- 高質空間形成施設 (緑化施設等)  
(都) 駅前中央通り線  
給排水・電源設置、修景整備
- 滞在環境整備事業 (調査)  
三河安城マチナカ協創地区  
社会実験のコーディネート支援
- 滞在環境整備事業 (調査)  
三河安城マチナカ協創地区  
つかう.meetコーディネート支援
- 滞在環境整備事業 (調査)  
つくりつかうデザインブック作成支援
- 滞在環境整備事業 (調査)  
三河安城マチナカ協創地区  
デザイン推進会議運営支援

- 三河安城駅周辺地区計画
- 三河安城駅周辺地区まちづくり指要要綱
- 安城市駐車場附置義務条例
- 三河安城パワーアップ再生プロジェクト
- マチナカプレイスメイキング
- まちを知るきっかけづくり事業
- オープンデータ活用事業
- 3D都市モデル運用事業
- つかう.meet運営
- まちづくりにおける連携協力に関する協定制度
- まちマスサポート事業
- 滞在環境整備事業 (調査)  
三河安城マチナカ協創地区 (都) 安城幸田線ほか  
活動データベース運用支援

- 高質空間形成施設 (緑化施設等)  
中央駅前広場東暫定広場  
給排水・ドレン・電源設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (中央駅前広場東暫定広場)  
レイアウト変更検討
- 地域生活基盤施設 (緑地、広場)  
三河安城マチナカ協創地区 (中央駅前広場東暫定広場)  
屋根・ベンチ、芝生等設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (都) 安城幸田線  
ライジングボード設置
- 高質空間形成施設 (緑化施設等)  
(都) 安城幸田線等  
(都) 安城幸田線ほか修景整備
- 多目的交流拠点 (アリーナ) 整備事業  
(民設民営)
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (芝生広場)  
屋根・ベンチ等設置
- 高質空間形成施設 (緑化施設等)  
三河安城ツインパーク北  
給排水・電源設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (三河安城ツインパーク北)  
屋根・ベンチ等設置
- 高質空間形成施設 (緑化施設等)  
三河安城ツインパーク南  
給排水・電源設置
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (三河安城ツインパーク南)  
屋根・ベンチ等設置
- 公園事業 ※都市公園R協定を想定。  
三河安城ツインパーク北及び南  
民間活用可能な公園への再整備
- 地域生活基盤施設 (情報板)  
(都) 安城幸田線ほか  
中央駅前広場進入禁止表示灯設置 ●
- 滞在環境整備事業 (社会実験)  
三河安城マチナカ協創地区 (都) 安城幸田線ほか  
自動車・歩行者センサー設置 ★

**凡例**

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

